

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成 2 7 年度 第 2 回入間市総合教育会議
開 催 日 時	平成 2 7 年 8 月 4 日 (火) 午後 1 時 1 5 分 開会、午後 3 時 0 0 分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 4 階 : 入札室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	田中龍夫、西澤泰男、河村佳樹、青山友子、秋葉奈穂、高山茂
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	企画部長 田中利之、企画部参事 鳥山政之
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<p>1 . 開 会</p> <p>2 . 挨 拶</p> <p>3 . 報告事項</p> <p>(1) 各種重要計画の策定について</p> <p> 総合計画の策定について</p> <p> 行政改革大綱について</p> <p> 公共施設等総合管理計画の策定について</p> <p>(2) 教育振興基本計画の策定について</p> <p>4 . 協議・調整事項</p> <p>(1) 教育施策の方向性について</p> <p> 平成 2 7 年度の重点施策</p> <p> 今後の重要課題について</p> <p>(2) 学校施設の利活用の推進について</p> <p>(3) その他</p> <p>5 . その他</p> <p>6 . 閉 会</p>
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：入間市総合計画基本構想（成案） ・資料2：（次期）入間市行政改革大綱骨子案 ・資料3：入間市公共施設最適化基本方針
関係者職氏名	<p>教育総務部長 岩田武利、教育総務部参事兼教育総務課長 宮岡隆、 教育総務課主幹 鹿山泰隆、生涯学習部長 福田光嘉、生涯学習部次 長 新見輝明</p>
事務局職員職氏名	<p>企画部長 田中利之、企画部次長 長谷川芳明、企画部参事 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志、企画課主幹 宮澤昌樹、企画課主事 齊藤正文</p>
会議録作成方法	<p>要点筆記</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

< 報 告 事 項 >

- (1) 各種重要計画の策定について
 - 総合計画の策定について
 - 行政改革大綱について
 - 公共施設等総合管理計画の策定について
- (2) 教育振興基本計画の策定について

< 協 議 ・ 調 整 事 項 >

- (1) 教育施策の方向性について
 - 平成 27 年度の重点施策
 - 今後の重要課題について
 - ・耐震化、エアコン設置、環境改善については、市長部局も可能な限り支援する。
- (2) 学校施設の利活用の推進について
 - ・今後、学童保育室は学校の中、または敷地内に建設、または一時的に学校の余裕教室を使用する、という方向で検討していく。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 . 報告事項</p> <p>(1) 各種重要計画の策定について</p> <p>田中部長 まず、「(1) 各種重要計画の策定について」ですが、これについては、現在、市が策定に取り組んでいる計画の概要並びに経過報告になります。 ~ まで一括して担当の企画部より説明願います。</p> <p>浅見主幹 (総合計画、行政改革大綱、公共施設等総合管理計画の計画概要、経過について、資料 1 ~ 3 に基づいて説明)</p> <p>田中部長 ただいまの説明について、ご確認、ご質問はございますか。</p> <p>青山委員 子どもたちが少なくなっているのは事実ですし、公共施設のうち学校施設が 5 4 % を占めるということなので、教育委員会としても、統廃合は喫緊に対応しなければならない問題と認識し、話し合いを始めています。</p> <p>宮岡参事 平成 2 6 年度に、教育委員会として、統廃合に関する適正規模、配置基準を策定しました。これは文部科学省が示したものと同一基準です。この基準に該当する学校等があれば、統廃合を検討するというところで、教育委員会で準備をしているところであります。</p> <p>青山委員 市長は、統廃合について何か考えをお持ちですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>宮岡参事からお話がありましたように、基準ができましたので、まずは教育委員会で統廃合について総合的に考えていただきたいと思います。</p> <p>市長部局では、統廃合についての具体的な考えはありませんが、教育委員会から何か提案があれば我々も一緒に考えますので、結論が出る前であっても検討課題をいただきたいと思います。</p> <p>企画部はどう考えていますか。</p>
鳥山参事	<p>市長が言われたとおり、まだ具体的な計画はございませんが、まず基本方針を作り、考え方を整理しているところです。総合計画と公共施設最適化基本方針で、地区割りを設定しておりますので、今後は、行政サービスを、福祉圏域を踏まえて設定した9地区を基準として整理していきたい、という大元の考え方があります。このことは、学校を9校にするということではありませんが、この9地区を基準として、現在ある学校を、場合によっては集約化を図る、あるいは地域の拠点としての複合化を図る、ということも検討していければと思っております。全体の総量や考え方は、再整備計画を作っていく中で整理し、効率化を図るべきものがあれば、その後作る10年間の計画の中に取り込んでいく、という流れにさせていただこうと考えております。</p>
田中市長	<p>確認ですが、総合振興計画と整合の取れた教育基本計画を教育大綱とする、ということとなっていました。次期総合計画も、その計画をもって大綱と代えるという事になるわけですか。</p>
鳥山参事	<p>前回会議では、当面、現行の教育振興基本計画を大綱とし、次期総合計画策定時にはまた検討することとなっていました。次期総合計画と教育振興基本計画は合わせる形で策定していきたいと考えておりますので、そ</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>ういう意味では、次の教育振興基本計画も教育大綱として使える造りになると考えております。</p> <p>基本構想（成案）の第6章-第2節の「教育」とは、教育委員会の範疇であり、「生涯学習」とは区別するものなのか、あるいは、人間市すべての教育を指すのか、どちらですか。</p>
浅見主幹	<p>ここに記載されている「教育」は、基本的には教育振興基本計画と合わせていくというように考えております。具体的には、社会教育と学校教育の2つの分野について取扱うこととなります。生涯学習を別に扱う時、どのような定義にするのかということは、今、議論しているところです。</p>
高山委員	<p>そうであれば、生涯学習よりも教育の方が先に書くべきではないかと思えます。また、「文化」は無くて良いのでしょうか。細かい文言の問題ですし、ここに記載されているものは、人間市が強調したい部分であることは分かりますが、私たちとしては少しこだわりのある部分であります。</p>
田中部長	<p>では、意見として承ります。</p>
田中部長	<p>では、続いて（2）教育振興基本計画の策定について、担当部、課より説明をお願いします。</p>
岩田部長	<p>現在の教育振興基本計画の計画期間は平成28年度までとなっており、平成27年度、平成28年度で、平成29年度以降の計画を策定することとしています。平成27年6月定例教育委員会において、策定に係る報告を行い、7月以降、情報収集、調査、研究等を行い、平成28年の秋以降、定例教育委員会に議案として提出する予定です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中部長	<p>なお、首長が策定する「大綱」について、その内容が教育振興基本計画と大きく異なる場合、教育行政に混乱が生じないように、当該計画を近づけることも必要と考えております。このため、今後の総合教育会議におきましても、首長と教育委員会で教育振興基本計画の内容を十分に調整し、当該計画をもって、大綱に代えることができるような協議が必要であります。</p> <p>ただいまの説明について、何かございますか。</p> <p>無いようですので、次の議題に移ります。</p> <p>「４．協議・調整事項（１）教育施策の方向性について」ですが、「平成２７年度の重点施策」と、「今後の重要課題について」の２点ございます。これらについて、順次、担当部から説明をお願いします。</p>
岩田部長	<p>重点施策である学校耐震化の状況ですが、今年度中にすべての校舎、屋内運動場の構造体の耐震化は終了します。しかし、非構造部材の被害が発生しているため、文部科学省からその対策を求められています。現在、つり天井のある、金子小学校、金子中学校、豊岡中学校の屋内運動場の耐震工事に係る実施設計を行っているところです。</p> <p>今後は、校舎及び屋内運動場の非構造部材、例えば、天井、窓ガラス、テレビ台、照明器具、スピーカーなどの点検を行い、実施設計、耐震化工事を実施する必要があります。</p> <p>次に、子ども未来室事業ですが、平成２１年度から実施し、本年度で７年目になります。この事業は、幼児期から２０歳まで、すべての子どもたちの自立を目指す事業です。特に、発達障害児の早期発見や早期支援を中核に据え、子育て中の親、子ども、保育士・教師を支援してきました。</p> <p>これまでの成果として、小１プロブレム、中１ギャップの問題が軽減さ</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>福田部長</p>	<p>れ、不登校、問題行動の減少などにつながっています。</p> <p>幼保小の連携、小中一貫教育、中高連携、通常学級におけるユニバーサルデザインの視点に立った授業などを今後も推進し、すべての子どもの自立に向けた教育の充実を図っていきます。</p> <p>今後は、来年度入間高校跡地に開校する入間わかかさ高等特別支援学校との連携を図り、障害のある児童生徒の就労支援を充実していく計画です。</p> <p>続いて、「いじめ対策基本方針」に基づく取り組みについてですが、平成27年4月に、「入間市いじめ防止基本方針」を策定しました。具体的には、各学期に生徒指導カウンセラーによる学校訪問の実施や、各学期終了前の2週間を「いじめ防止に取り組む強化週間」として設定しています。また、いじめの状況調査や、一端起こったいじめの解消度を確認するための追跡調査を毎学期行っています。更に、スクールカウンセラーや、さわやか相談員を配置し、学校におけるいじめの防止等の取り組みを支援しているところです。</p> <p>各学校では、年度当初に「学校いじめ防止基本方針」を策定し、学校での組織体制等について共通理解を図っています。また、いじめ防止推進委員会を定期的を開催し、スクールカウンセラー等の専門家に参加を依頼し、いじめ防止等に関する取り組みが実効的に行われるよう工夫しています。更に、教員が児童生徒と向き合える時間を少しでも多く確保するために、校務の効率化を推進し、いじめ防止のための校内研修の時間も確保しています。</p> <p>今後、いじめの根絶の早期実現のため、行政、学校、保護者、地域及び関係機関等との更なる連携の強化とともに、教員の資質向上を図る研修を実施していく予定です。</p> <p>続けて、生涯学習部から、放課後子ども教室についてご説明します。放</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>課後、子どもたちに安全、安心な場所で、多様な学習や体験の機会を定期的かつ継続的に提供する事業として、放課後開始から午後5時まで、週2回程度実施します。今年度については、西武小学校区、高倉小学校区で、公民館を会場として10月からの実施に向けて準備を進めています。コーディネーター、教育サポーターの設定がほぼ完了しました。今後、31年度までに、全16校の小学校区で実施を目指し、来年度から新たに3学校区追加できるよう、現在、実施計画に要求しているところです。来年度からは、学校の授業等に支障の無い範囲で、放課後使える教室等を活用して事業を進めていきたいと考えております。</p>
田中部長	<p>ただいま説明していただきました4つの事業について、何かご質問等ございますか。</p>
田中市長	<p>いじめ問題についてですが、いじめている側はいじめだと思っていない、先生方も遊びの一部だと思い見落としてしまうなどということもありますが、実際、入間市のいじめはどのような状況ですか。</p>
西澤教育長	<p>教師の目の前で、一方的ないじめが起こるようなことはあまりないので、いじめの発見は難しいです。ただ、生徒に学期1回程度、「いじめに関わらず、何か悩みなどはありますか」といった内容のアンケートをとり、面談も行っています。それによっていじめを発見する、という体制をとっております。もちろん、保護者からの訴えがあれば、丁寧に対応することになっています。</p> <p>しかし、その範疇外のものもあり、それが大きな事件や事故に繋がっているのも確かです。入間市としては、比較的丁寧に生徒の生活の様子を見たり、アンケート等を大切にしておりますが、全くいじめが無いとも言えません。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>一定の関係を持った子どもが、精神的、または物理的にいやなことをされる、というのがいじめの定義で、相手は遊んでいるつもりでも、本人がいじめられていると思えば、それはいじめとなります。</p> <p>学校いじめ防止基本方針を、各学校が策定していることを確認しました。それを基に、定期的ないじめ防止委員会を開催し、各学校の状況を確認しているところです。</p> <p>どんないじめも見逃さないような教育指導をお願いします。生徒が目的や目標を持ち、いじめをするような暇はないというようになれば良いかと思えます。</p> <p>もう1点、放課後子ども教室はなぜ公民館で行い、学校の教室では実施しないのですか。</p>
福田部長	<p>放課後子ども教室は、過去から、土曜日に学校の体育館や公民館等で開設しておりましたが、今回、初めて平日の放課後に行うということで、全く新しい事業です。はじめから学校で実施するより、まずは、社会教育施設であり、学童保育室や学校に近い公民館で試験的に実施し、様々な課題の抽出やその解決を図っていきたいと考えております。</p>
田中市長	<p>公民館で全16校が実施し、回数も週2回が3回、4回に増えていくと、今度は公民館の貸し館などが圧迫される可能性があります。そうであれば、はじめから学校で実施したほうが良いのではないかと思います。</p>
福田部長	<p>全校、公民館で実施するつもりはありません。公民館で実施するのはこの2校区だけです。今後は、この2校区での実績を基に、他の学校へ徐々に展開していきたいと考えております。今回実施する2校区の選定にあたっては、安全、安心ということを最重要視しております。高倉公民館は学</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>童保育室の隣にあり、西武公民館は西武小、学童保育室から道を1本挟んだ位置にあるため、子どもたちの移動を考えると、この2つの公民館が最適であるということで選定しました。来年度以降新たに追加する学校区につきましては、人、物、金が揃ったところから、徐々に開設していき、開設する場合は学校で、と考えております。</p> <p>学童が中心になるのか、放課後子ども教室が中心になるのか、という今後の大きな方向性を考えていただきたいと思います。放課後子ども教室に行けば、学童には行かなくても済むのか、あるいは、学童に通いながら放課後子ども教室にも行くのか、そのあたりの狙いはしっかりと考えなければならぬと思います。</p> <p>また、市長部局も教育委員会も含め、これから子どもの関係を1本化していこうという動きがあります。その研究もお願いします。</p>
田中部長	<p>それでは、「今後の重要課題について」、担当部から説明をお願いします。</p>
宮岡参事	<p>耐震化、エアコン、環境改善についてご説明します。</p> <p>耐震化につきましては、先ほど教育総務部長が申し上げましたとおり、非構造部材の調査、点検にかかる費用を平成28年度実施計画にあげさせていただきます。今後、実施設計、耐震化工事を行い、安心、安全な対応を進めます。</p> <p>エアコンにつきましては、平成28年度版実施計画の中で、設置方式をリースとし、小・中学校一斉に、普通教室と特別教室を併せて420室に設置するための、基本設計を含む実施設計の費用を平成28年度に、平成29年度に工事、平成30年度の6月に稼働できるよう、必要な経費を計上しました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田部長	<p>環境改善につきましては、トイレの改修を考えております。校舎の系統別トイレの改修工事を1年度に3校ずつ計画的に整備するべく、実施計画に計上しました。</p> <p>もう1点、学力向上について説明いたします。</p> <p>教育委員会では、各学校での学力向上に資する取り組みに活用するためのリーフレットを作成し、全学校に配布しています。また、授業を10の視点から評価するシートを作成し、学校指導訪問や授業研究会等で、このシートを活用し、指導に活かしています。</p> <p>また、教職員の資質向上を目指して、平成27年度は市内14校に対し、学校指導訪問を行います。その際には、すべての教員に対し、指導主事等がマンツーマンで授業の指導を行います。学校指導訪問以外でも、市内の全初任者、臨時的任用教員に対し、指導主事等が授業研究を参観して、年間1回以上の個別指導を行っています。</p> <p>それ以外にも、年次経験者研修会、各教科・領域研究員研修会等、平成27年度は全11種類の指導力向上研修会を計画、実施しております。</p> <p>各学力調査の検証や指導訪問等から明確となった成果と課題を基にして、今後も学力向上策の充実を図っていきます。</p>
田中部長	<p>ただいまの説明について何かございましたらお願いします。</p>
田中市長	<p>耐震化、エアコン、環境改善については、財政的にしっかりと応援していきたいと思っています。</p> <p>学力向上について、入間市の学力が、全体的に埼玉県平均より低いのですが、その原因は何であると考えますか。最低でも県の平均より上であってほしいと思うところです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>インターネットに平均点が掲載されましたが、この結果は予想外でした。現在、指導主事が分析をしているところで、8月21日の校長会議で、その分析結果を提示しながら話し合い、それを授業に活かそうというように取り組んでおります。</p>
高山委員	<p>私の経験から言いますと、教師の指導力の低下が原因だと思います。良い授業をするためには、教員が教材の分析、研究や、子どもたちと向き合って個別指導することなどが必要ですが、その時間があまりありません。学力を上げるためには、その時間を作ることが必要だと思います。</p>
田中市長	<p>子どもたちが自分から勉強したいと思わなければ、学力は伸びないと思います。秋田の学校では、授業後の学活の時間に、今日自分ができなかったことを考え、明日までにそれを克服してきなさい、ということを行っており、これは良い事だと思いました。狭山ヶ丘高校では、授業前に必ず1分間の瞑想をさせ、今日は何を勉強したいのか、ということなどを考えるようにしています。他にも、外で遊んだ後、必ず10分間本を読ませ気持ちの切り替えをさせるという学校もあります。</p> <p>このように、できることはどんどんやっていくと良いと思います。</p>
西澤教育長	<p>全体の傾向を見ると、学校間の差が大きいようです。それは、今、市長がおっしゃったようなことを実施している学校があるためかもしれませんし、授業そのものの質の差かもしれません。そのことも含め、校長会議で話していただき、各学校に持ち帰っていただこうと思います。何かのきっかけで生徒の学力が伸びたという学校もあると思いますので、学校間での話し合いを大切にしてお応じたいと考えております。</p>
田中市長	<p>昔から、先生方は時間が無いと言いますが、それを解消する方法は無い</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>のですか。</p> <p>学力向上や、個々の良さを見つけることを目的として、40人のクラス2クラスを3つに分けて、1クラス30人にしたり、1クラスを2つに分けたり、あるいは、1クラスの中に2人の先生を配置したりしているので、授業時間の中での先生方の研修時間は少なくなっています。</p> <p>そうすると、時間が無いことの解消法の1つとしては、人的確保が、かなり効果大だと思います。市にバックアップしていただき、人が増えれば、先生方の研修時間が確保できます。</p>
田中市長	<p>本当に人が少ないことが原因なのか、私は少し疑問です。例えば、教育長もつい最近まで新任の先生を指導しておられました。校長にまでなっていた先生がそれほど手厚く指導しているにも関わらず、指導が足りないというのはどうかと思います。もう少し、教育委員会は身を引き締めるような工夫をしていただきたいと、個人的には思います。</p>
高山委員	<p>昔の先生と今の先生では質が違います。昔は生徒が40人、45人いても対応できる能力がありました。今の若い教員には無理です。ですから、いきなり担任を持たせるのは危険なので、ある程度研修させなければならぬというのが、県の考え方だと思います。</p> <p>また、教育と名のつくものが、昔よりも遥かに多くなりました。国際理解教育、男女共同教育など、非常に多くの教育が入ってきました。小さいうちから、このような教育をしなければなりません、という趣旨はよくわかります。しかし、そのために、本題である教育課程をととても圧迫しているということも、原因の1つだと思います。</p>
青山委員	<p>もう1つ考えられるのは、家庭の教育力の低下だと思います。昔の親</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中部長	<p>は、なんとしても子どもに教育を受けさせたいという想いがありましたが、今は、どうでもいいという親もいます。そのことも、先生方の指導が大変になった原因ではないかと感じました。</p> <p>では、このあたりでまとめますと、施設の整備に関しては、市長部局でも可能な限り支援をする。学力向上対策については、現在分析中である。ということでしたので、今後それらを踏まえた対応をお願いします。</p> <p>それでは、次に（２）学校施設の利活用の推進についてですが、大きく２点ございます。</p> <p>１点目は、放課後の校舎利用、具体的には学童保育室の整備の方向性です。子どもの居場所作りをどう考え、学童保育室をどう整備していくか、ということについて意見交換していただき、基本的な考え方などが共有できたらと思います。</p> <p>２点目は、将来予想される、施設の統合や、他種施設との複合化などについて話をしたいと思います。</p> <p>では、１点目の放課後の子どもたちの居場所作り、施設の整備について、意見交換をお願いします。</p> <p>前教育長からも、子どもの数が少なくなり、教室が空いたところについては、今、校舎の外にあるものを中に入れるよう整備していこうという話があったと思います。</p> <p>一方、昨年から話題になっているのは、子どもが増えているうえに、学童保育室の入室対象を小学校６年生まで拡大したところ、更に入室希望が増えたことについて、市長部局がお騒がせした事実があり、今、色々な方法を使って解消しているところです。</p> <p>このように、状況が違う部分もありますが、そんな中で、これからどうしていきましょうか、ということでもあります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>子どもの生活の場所という意味合いもありますし、放課後子ども教室は教育の色が強かったりというように、特色の違いもあります。その点も含め、皆様のご意見をいただきたいと思います。</p> <p>私としては、同じ子どもなのですから、できれば学校の中に学童保育室を作ってほしいと思っています。空き教室がある場合はそこを使い、無い場合は学校の敷地内に学童保育室を作らせていただく。どちらもできない場合は、余裕教室をしばらく提供していただく。この3つの方法で、どうかできないかと思っています。</p> <p>現状は、校舎の端にプレハブ小屋があり、邪魔者にされているようにも私には見えますので、できれば、同じ学校の子どもは同じ学校の中で生活させてあげたいなと思うのです。</p>
西澤教育長	<p>学童は保育がメインであり、放課後子ども教室は社会教育がメインです。それらは、この場だけではうまく話し合えないかなと思います。</p> <p>拒否しているというようなことは一切ありませんし、空いている学校は中に学童保育室があっても良いと思います。ただ、藤沢や東町の地区は、子どもが増えて教室が足りておらず、学童保育の入室対象も広がったので更に増えているという状況です。子どもが増えている学校については、学童保育を受け入れることは物理的に難しいと思います。</p>
青山委員	<p>もし空き教室が無ければ、敷地内に作るということもやぶさかではないと、市長部局ではお考えですか。</p>
田中市長	<p>はい。</p>
田中部長	<p>藤沢地区の区画整理が進み、今、人口や子どもの数が増えており、今後</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>の児童数の予測はしっかりとしていかなければならないと思いますし、働く方が増えることによって、学童保育室の利用も増えてくるのかなと思いますが、なかなか予想が難しい状況です。</p> <p>藤沢南小学校は、今のプレハブを直して対応しなければならないという気はしています。</p> <p>宮寺小学校、新久小学校、藤沢東小学校は同じ建物に学童保育室がありますが、学童保育室に一度入ったら、校舎を行き来してはいけません、というようにうまくルールを作っているようです。それはそれで良いことだと思います。</p>
西澤教育長	<p>学童保育室は18時、19時まで開いていますが、学校は17時過ぎ頃に施錠してしまいます。その点について、今話の出た3校については住み分けができていて、本校舎と学童保育室が別の警備になっていると思います。</p> <p>複合の話に繋がりますが、将来学校を立て替える時には、本校舎と学童保育室を完全に区切って同じ敷地内に入れるなどの対策はしっかりとしておかなければなりません。</p>
田中市長	<p>そのように、ネックとなっている部分があれば言っていただいて、実施する方法を考えていきたいと思います。</p>
田中部長	<p>では、今後に向けては、市長がおっしゃったように、空き教室がある場合は校舎の中、無い場合は学校の敷地内、現時点で整備余地が無いところは、余裕教室を一時的に提供していただく、ということによろしいでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	(異議なし)
	<p>子どもの居場所という件についてはどうですか。保育の場、教育の場とありますが、それらの明確な住み分けは難しいかもしれませんが。</p>
田中市長	<p>例えば、市長部局が教育委員会に委託するというのはいかがですか。</p>
西澤教育長	<p>それは、保育士がいなければできないものなののでしょうか。教員ではもちろんできませんが。</p>
田中部長	<p>学童保育の指導員は、教員免許のある方が、保育士免許のある方が、あるいは、臨時採用であれば意欲のある方となっています。</p>
高山委員	<p>どこの市町村も、市長部局と教育委員会で分かれているのですか。</p>
田中部長	<p>狭山市では、教育委員会の方で一緒に行っています。</p> <p>また、子ども子育て新制度に変わり、経過措置として、今の指導員は3年間の間にしっかりと研修を受けなければならないことになり、単に資格を持っているだけではいけない、というように変わりました。</p>
西澤教育長	<p>指導員は集まらない状況なのですか。</p>
田中部長	<p>なかなか難しいです。</p>
高山委員	<p>しかしニーズはありますよね。</p>
田中部長	<p>ニーズはあります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>学校が終わった後も親が働き続けるために、誰かに面倒を見てもらいたいということで預けるのが学童保育です。放課後子ども教室は全く別物で、放課後を使って絵を描かせたりなど、色々なことを体験させてあげようという、社会教育的な事業です。</p>
田中部長	<p>では、お時間の関係で、この辺でまとめさせていただきますと、校舎の利用に関しては先ほど申し上げましたような方向で進め、放課後子ども教室は、これから始まることなので、今話したことも意識しながら対応するということです。</p> <p>最後に、これから先、公共施設のマネジメントを進めていくと、校舎の統廃合の話とは別に、他の施設と一緒にしていこう、という話になりそうなのですが、そのあたりについて意見交換させていただきたいと思います。</p>
高山委員	<p>イメージがわからないのですが、具体的にはどのようなことですか。</p>
鳥山参事	<p>例えば、教育施設であれば学校と公民館、保育との一体化ということであれば保育施設と学校、コミュニティとの一体化ということであれば高齢者や自治会の活動施設と学校というような組み合わせが考えられます。</p>
青山委員	<p>福祉の9圏域とリンクさせ、高齢者施設、地域包括センター、公民館、支所なども含めた、そこに行けば何でもできてしまうような施設があると、これからの高齢化社会ではありがたいと思います。学校は大きな施設ですので、その中に様々な施設を入れるなど、高齢化社会を見据えて、何か1つモデルを作っていただくと、非常にわかりやすいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中部長	ありがとうございました。他に何かございますか。
田中市長	学校の図書室は一般公開できないのですか。
岩田部長	入間市ではないですが、他市ではやっているところもあります。
西澤教育長	今の図書室では、大人対象というわけにはいかないと思います。
青山委員	図書館と学校をリンクさせて、足りないものを図書館から持って来てもらうようにしておけば、すべての学校にたくさん本が無くてもよくなるのではないかと思います。
福田部長	団体予約での貸し出しはしておりますが、生徒が学校で、どの本がどの図書館にあるのか検索できるというようなシステムはできておりません。できれば、将来的にはそれができるようになればと考えてはおります。
青山委員	それができれば、予算があまり無くてもうまくいくような気がします。
西澤教育長	現在は、行事などで必要な場合、学校にあまり本が無いので、市の図書館で、例えば30冊をまとめて1ヶ月借り、その後まとめて返すということは行っています。しかし、日常的に、1冊だけ学校に持って来てもらうというわけにはいきません。
田中市長	行事の下調べなどは、今はインターネットでも調べられますが、本で調べるのとどちらが多いのですか。

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	両方ではないでしょうか。
田中市長	なぜ学校には本が少ないのでしょうか。
高山委員	予算が無いからです。
田中市長	本当に必要なものであれば、予算を拡張する努力をすると思います。それが無いということは、その意欲がないものと感じます。
高山委員	限られた予算なので、優先順位をつけるとなると、校長としては、まずは図書館よりも他の事にお金を使いたいということではないでしょうか。
田中市長	図書については、教員の皆さんが本当に必要と思うのなら、市と調整していただければと思います。
田中部長	複合化の話に戻しますと、先ほど青山委員から、地域のコミュニティの問題などの視点で話をさせていただきましたが、学校は地域の中にありますので、その役割を教育だけで果たすのではなく、他にも役割を持つということが今後は出てくるのかなと思います。
田中市長	そのような道もあるということで考えていただくということですね。
田中部長	複合化することが望ましい機能というものが、高齢者のことであったり、子どものことであったり、あるいは、公民館や支所であったりするのかなと思います。

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	複合化は積極的に進めていこうという考えなのでしょうか。
浅見主幹	<p>まだ具体的ではありませんが、文部科学省でもこの複合化が検討されています。複合化については積極的に進めていきたいという国の方針も伺っております。その中で、学校は統廃合していかなければならないものも出てくるかと思いますが、地域の拠点として残し、そこに施設を集約していくということは、優先的に考えていくべきことではないかと思っております。</p>
高山委員	<p>学校の空き教室が増えてきた時、そこに施設を入れ込むということは、建物の観点では都合のいい話だと思います。しかし教育の観点で言えば、ある程度の規模が必要で、単学級の生徒だけでは良い成果があがらないというようなことがたくさんあります。そのように、教育の充実や発展のためにはどのようにすべきか、ということを考えなければならないと思います。</p>
田中部長	<p>学校の教育施設としての適正化が重要だということですね。</p> <p>色々意見をいただき、ありがとうございました。最後の議題については、まだまとまりませんが、これから進めていく中で、またご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは、「５．その他」として次回日程について事務局からお願いします。</p>
鳥山参事	<p>年間４回開催ということになっていますので、今回は、１０月の初旬頃を予定しております。その時期になりますと、市として予算編成に向けた方向性をご説明できるかと思えます。また、実施計画をただいま策定中ですので、来年度予算に向けての調整事項などを議題として、次回の会議を</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中部長	<p>開かせていただきたいと考えております。</p> <p>教育委員会からも何かご提案があれば、その会議で取り上げますので、事務局を通じてご連絡いただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。以上で、第2回入間市総合教育会議を閉会させていただきます。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成27年9月1日

市長の署名

田中 龍夫

教育長の署名

西澤 泰男